

◇ 薬局業界の未来考察

令和の薬剤師に必要な最新スキル



この資料を読むと わかること

→ 薬局を取り巻く環境変化 Page 3

→ 門前薬局の危機と成功する薬局 Page 4

→ どんな薬局が成功するのか Page 5

→ 令和の薬剤師に求められるスキル Page 6

→ 令和の薬剤師にもっとも必要なスキル Page 7

→ スキルを身に着けるには Page 8



薬局を取り巻く 環境変化

6万軒

現在の全国の薬局数

3万軒

今後削減予定の薬局数

供給増

薬剤師の需給バランス

7.7兆円

薬局調剤医療費

増えた薬局、薬剤師の飽和、薬局調剤医療費の増大

現状、2020年時点の調査では全国の薬局は約6.1万軒にまで増加しました。また薬剤師の数も厚労省が公表した「薬剤師の需給調査」では、2018年に需要と供給のバランスが転換し、供給が需要を上回りました。これによると2045年の供給数は最大で45万8000人、最小で43万2000人。需要数は最大で40万8000人、最小で33万2000人となっています。

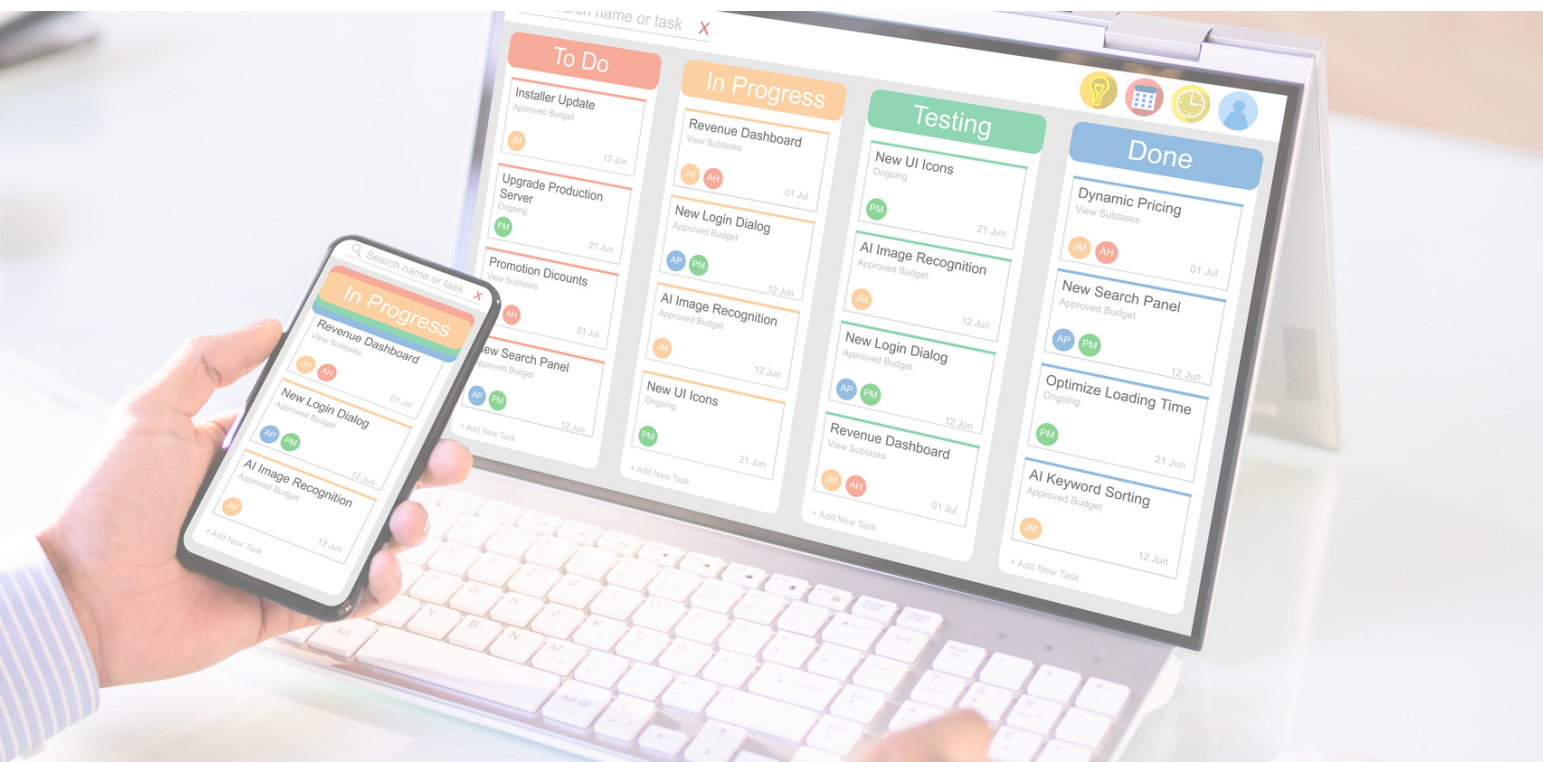
医療費全体は43.6兆円のうち、7.7兆円が薬局調剤医療費となり、政府はこれらの増えすぎた医療費全体を削減する動きを取っていく方針です。

今後、薬局は3万軒程度削減される見込み

社会保障制度を維持するにために、薬局の数を半数程度の約3万軒まで減らす必要があると言われてます。迫りくる薬局の大淘汰の時代に「市場から求められる薬剤師」となる必要性は増していくことが見込まれています。



門前薬局の危機と成功する薬局



門前薬局の中でもこんな薬局は要注意



集中率の高い薬局

特定のクリニックからしか処方箋を受けておらず、集中率が上がり調剤基本料が下がる恐れがある薬局。



在宅医療を未実施な薬局

医院や訪問看護やケアステーションと連携をしておらず、地域体制加算等が取得できない薬局。



ジェネリック使用率が低い薬局

医師の方針で後発品の利用がほぼできない状況の薬局、後発品加算等が取得できない状況の薬局。

どんな薬局が 成功するのか

01 「患者のための薬局ビジョン」を 体現する薬局

02 薬剤師の「能力開発」に力を入れる薬 局・人材開発投資に前向きな薬局



経営者の理解

経営者がかかりつけ薬局としての機能と報酬改定に合わせた経営方針のジャッジを行い、「患者のための薬局ビジョン」を体現している薬局。



人材育成・能力開発

薬剤師としての専門性のほかに、「コミュニケーション力」や「折衝力」を重視している薬局。

令和の薬剤師に 求められるスキル

薬剤師に必要なスキルは3階建て構造



PROFESSIONAL

テクニカル スキル

- ✓ 薬剤師としての専門スキル
- ✓ 持っている資格
- ✓ 特定疾病・症例などに関する知識



STANDARD

ポータブル スキル

- ✓ 異業種でも求められることが多いスキル
- ✓ コミュニケーション力
- ✓ 課題発見力・解決力
- ✓ 現状把握能力
- ✓ 交渉力・折衝力



BASIC

スタンス

- ✓ 薬剤師として働く価値観
- ✓ 仕事への向き合い方
- ✓ 薬剤師という仕事の意義理解
- ✓ 医療人・社会人として働く心構え
- ✓ 人とのかわり方
- ✓ 社会人としての基礎力

令和の薬剤師に もっとも必要なスキル

テクニカルスキル



ポータブルスキル
働くスタンス

働くスタンスとポータブルスキルは専門性よりも重視されていく

対物業務から対人業務の重要性が増してきた令和の薬剤師にもっとも求められるのは、患者と患者の家族・医師含む多職種との円滑な連携を行うための「コミュニケーション力」

患者やその家族が抱えている「不」に気づき、服薬指導や患者の現状を適切に把握する「ヒアリング力」「共感力」。さらには処方提案など医師・多職種へ患者情報を連携するための「折衝力」「課題発見解決力」

上記の土台となる「働く価値観」「仕事に対する意義理解」「人とのかかわり方」



STANDARD ポータブル スキル

- ✓ 異業種でも求められることが多いスキル
- ✓ コミュニケーション力・共感力
- ✓ 課題発見解決力（＝提案力）
- ✓ 現状把握力（＝ヒアリング力）
- ✓ 交渉力・折衝力



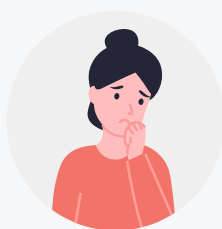
BASIC スタンス

- ✓ 薬剤師として働く価値観
- ✓ 仕事への向き合い方
- ✓ 薬剤師という仕事の意義理解
- ✓ 医療人・社会人として働く心構え
- ✓ 人とのかかわり方
- ✓ 社会人としての基礎力

スキルを身に着けるには

令和の薬剤師は、これまでの一般的な薬剤師とは異なり、薬剤師としての専門性に加えて、ポータブルスキルを研鑽していく必要がある時代にいます。
まずは自己分析を行い、自分に足りているスキルと伸ばしていく必要のあるスキルを確認し、現状の自分の状況を客観視して今後のキャリアを選択していくことが必要です。

こんなお悩みがある人はキャリア診断の対象です



このまま今の職場にいて成長できるか心配..
言語化できない「漠然とした不安」がある..
自分のキャリアを客観視したことがない..

薬剤師専任アドバイザーが
ていねいにサポートします

キャリア診断してみる

